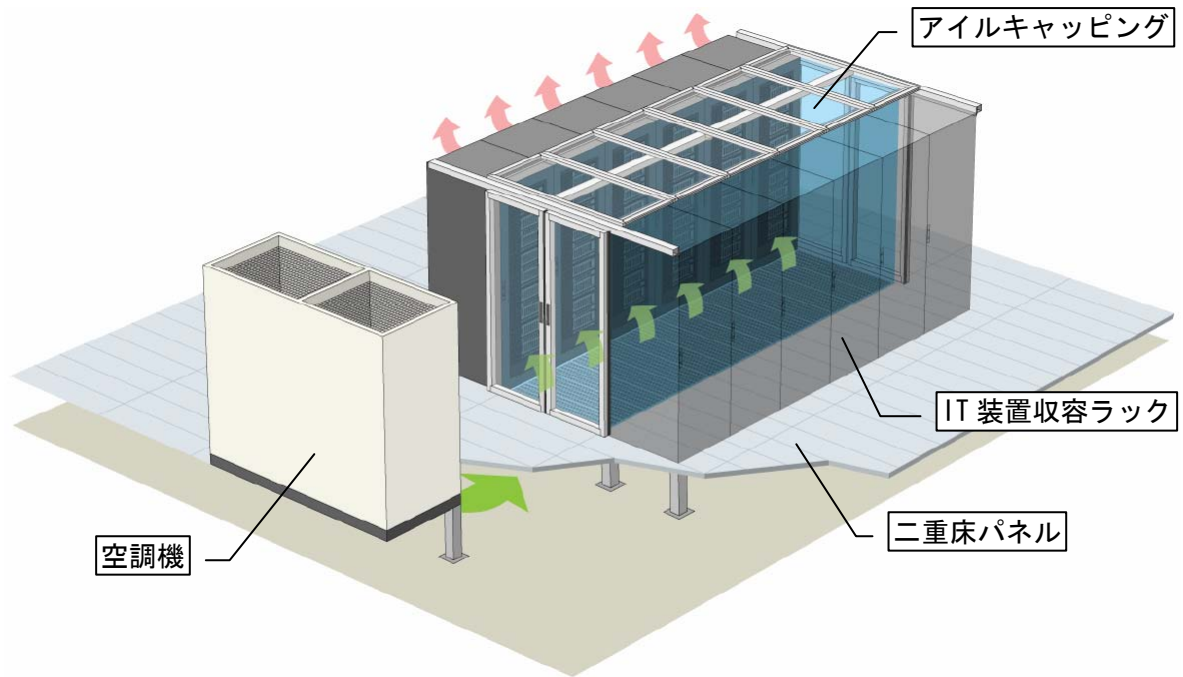


## 【構成概要図】

### アイルキャッピング ヘッドキャップ工法



## 【特長】

- ・ラックの高さが異なる場合でも設置可能
- ・屋根面遮蔽部(パネル)の取り外しが可能であるため、部屋の照明等のメンテナンスが容易
- ・全ての気流方式に対応可能(二重床吹出横吸込方式や二重床吹出天井吸込方式など)であり、既設物件に対しても容易に設置可能
- ・コールドアイルをキャッピングし、二重床パネル開口設計技術を用いることで空調機からの冷気を制御し、最小限のエネルギーで適正な温度環境が実現可能
- ・標準サイズは幅方向:0.6~0.7m、奥行き方向(通路幅):1.2~1.5m、それ以外に関しては要相談

【写真】

アイルキャッピング ヘッドキャップ工法(試作品)



【空調機停止時の温度上昇比較】

実大規模実験による実験結果

発熱条件:約 7kW/Rack (約 4kW/m<sup>2</sup>)

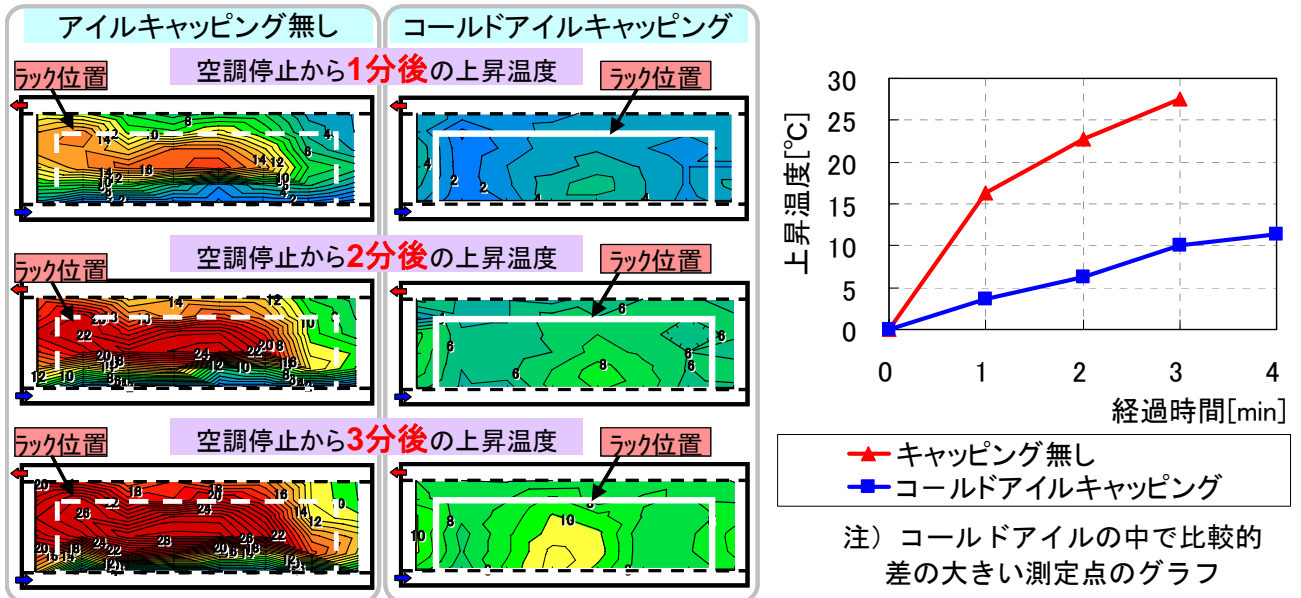


図1 空調機全停止後におけるコールドアイル断面の温度上昇分布